

はむら市議会だより

No. 93

(通巻No.202)

平成24年5月15日発行
羽村市議会
〒205-8601
東京都羽村市
緑ヶ丘5丁目2番地1
☎ 042(555)1111
ホームページアドレス
http://www.city.hamura.tokyo.jp/

羽村市議会 検索



うんメェ〜！（羽村市動物公園「ヤギさんの童话ランド」にて）

会派名簿

会派とは、政治上の主義や政策を同じくする議員の集まりで、議会活動を行う上での基礎となります。

新政会 市民クラブ

富松 崇②
橋本 弘山⑧
濱中 俊男⑬
瀧島 愛夫⑭
船木 良教⑯
川崎 明夫⑱

公明党

中嶋 勝③
富永 訓正④
西川美佐保⑦
石居 尚郎⑫

民主党

大塚あかね⑥
馳平 耕三⑪

日本共産党

倉田 学①
鈴木 拓也⑤

市民ネットワーク 「いきいき広場」

門間 淑子⑰

新しい風

小宮 國暉⑩

羽村21

水野 義裕⑮

世論

山崎 陽一⑨

※○の数字は 議席番号です。

あなたも議会を
傍聴して
みませんか？

次回の定例会は6月です。

請願・陳情の提出は
5月28日までをお願いします。

今後の議会の予定

6月定例会

6月 7日(木) 本会議(初日)
6月 8日(金) 本会議
6月 11日(月) 本会議
6月 12日(火) 本会議
6月 18日(月) 常任委員会(予定)
6月 19日(火) 常任委員会(予定)
6月 26日(火) 本会議(最終日)

※予定は変更になる場合があります。詳細は、市ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。

第1回(3月)定例会

一般質問 市政を問う(16人の議員が一般質問)	2ページ
議会活動報告	13ページ
審議した主な議案	14ページ
議決結果一覧	16ページ
平成24年度予算審査を行いました	18ページ

編集後記

私たち編集委員会の活動も任期の半分が過ぎました。編集会議とはどういうものか？ご興味を抱かれる方もいらっしゃると思います。

一般質問や議案審議の原稿には一般社会ではなじみのない、議会用語や行政用語を使ってしまいがち。「読み手の立場に立つて」を常に心がけ、わかりやすく、親しみやすい内容にするべく、編集委員全員が知恵を出し合い、数日かけて作業を進めています。時には、熱い激論を戦わせることも。

さて、今号には予算審議模様が掲載されています。平成24年度予算審査特別委員会での熱い審議内容をお読み取りいただければ、と編集委員全員、願っています。

(大塚記)

【編集委員】
石居 尚郎 富松 崇
倉田 学 富永 訓正
大塚あかね 山崎 陽一
濱中 俊男



▲富士見農場

市長 試行的運用など、子ども達への影響を最小限に緩和する措置を講じることも視野にいれながら、平成25年度の実施に向けて検討していく。

*CSA：消費者が農家から自家消費用の農作物を、代金前払いで直接定期購入するシステム

市民葬儀について
 市長 市民サービスの一環として、市が標準的な葬儀内容および費用を定めることにより、市民の経済的負担を軽減を図り、安心して葬儀を執り行える葬儀の基準を確保する市民葬儀を制度として取り入れてはどうか。

市長 市が出資しているラメント富士見では、他市で制度化している市民葬儀と同等の葬儀を執り行っている。PRに努めるよう、働きかけていく。

羽村市の農業政策について
 質問 都市計画施策と農地の保全政策をどのように連携し、農地を計画的に維持していくのか。

市長 生産緑地制度による追加指定の促進に努めることにより、農地の保全を図っていききたいと考えている。

質問 後継者育成と新たな担い手づくりをどのように図っていくのか。

市長 農業後継者の技術向上および育成のため、農業後継者クラブに経済的支援を行っているが、今後も支援していく。また、女性農業者の参画も必要と考えている。加工品の製造・販売、食事の提供など、女性ならではの分野での、起業的な支援等、行っていく。

質問 CSA（地域で支える農業）について検討してみたいか。

市長 農業者の意見を聴きたいと考えている。

学童クラブの
 開所時間の延長について
 質問 長期総合計画実施計画では平成25年度から延長と計画されているが、都内26市の半数が延長を行っている実態、そして女性の就労支援、子育て支援の観点からも、平成24年度内に延長を実施してはどうか。

市長 試行的運用など、子ども達への影響を最小限に緩和する措置を講じることも視野にいれながら、平成25年度の実施に向けて検討していく。

市長 65歳以上の接種希望者を対象に、概ね8千円の接種費用の半額にあたる4千円を助成する予定であり、1千人分、4百万円を予算計上した。

この予防接種は任意接種のため、まだ認知度が低いことから、広報紙や市のホームページにその趣旨や内容などを掲載し、広くPRに努めていく。

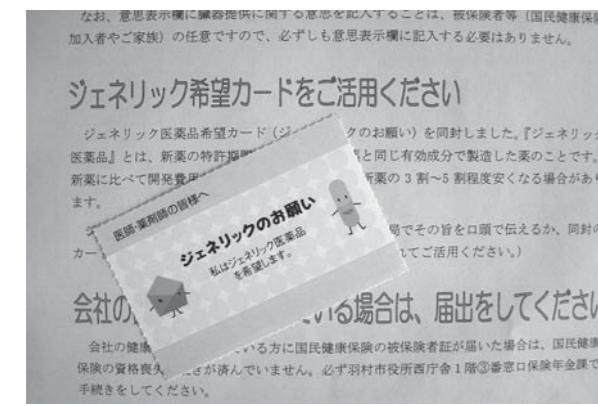
質問 ジェネリック医薬品の利用促進については、医療費の軽減や健康保険税アップの歯止めをかける効果策の一つとして利用促進や奨励通知など、その徹底を図るよう平成23年3月議会でも要請した。平成24年度から実施するののか。

高齢者福祉・医療の充実について
 質問 高齢者福祉バスについて、民間の活力を導入し効率的福祉サービスのねらいとして、平成24年度からの導入の運行委託方法に変更することにした。大型バスに加え20人程度の利用も可能な中型バスや、障害のある方や虚弱な高齢者も利用できるリフト付きバスを導入することにより、さらなる高齢者の社会参加を促すと共に、老人クラブ等の一層の活性化を図っていく。

質問 高齢者肺炎球菌ワクチンの公費助成について平成23年9月議会でも要請した。平成24年度からの実施方法は。

市長 平成24年度から実施することにより、市民の経済的負担を軽減し、安心して葬儀を執り行える葬儀の基準を確保する市民葬儀を制度として取り入れてはどうか。

市長 市が出資しているラメント富士見では、他市で制度化している市民葬儀と同等の葬儀を執り行っている。PRに努めるよう、働きかけていく。



▲ジェネリック希望カード

市長 平成24年度から実施することにより、市民の経済的負担を軽減し、安心して葬儀を執り行える葬儀の基準を確保する市民葬儀を制度として取り入れてはどうか。

市長 市が出資しているラメント富士見では、他市で制度化している市民葬儀と同等の葬儀を執り行っている。PRに努めるよう、働きかけていく。

市長 65歳以上の接種希望者を対象に、概ね8千円の接種費用の半額にあたる4千円を助成する予定であり、1千人分、4百万円を予算計上した。

この予防接種は任意接種のため、まだ認知度が低いことから、広報紙や市のホームページにその趣旨や内容などを掲載し、広くPRに努めていく。

質問 ジェネリック医薬品の利用促進については、医療費の軽減や健康保険税アップの歯止めをかける効果策の一つとして利用促進や奨励通知など、その徹底を図るよう平成23年3月議会でも要請した。平成24年度から実施するののか。

市政を問う

平成24年第1回羽村市議会(定例会)を、3月1日から3月27日までの27日間の会期で開催しました。

開会初日には、市長から、市政についての施政方針演説がありました。

3月1日、2日、5日には、16人の議員が一般質問を行い、市長の考えを問いました。

※質問・答弁は、内容を要約して掲載しています。

議員名	頁	議員名	頁
大塚あかね	2	富松 崇	8
小宮 國暉	2	船木 良教	8
石居 尚郎	4	門間 淑子	9
中嶋 勝	4	水野 義裕	10
富永 訓正	5	倉田 学	10
西川美佐保	6	馳平 耕三	11
橋本 弘山	6	山崎 陽一	12
鈴木 拓也	7	濱中 俊男	12

おおつか 大塚 あかね 議員 (民主党)

◇市民葬儀について
 ◇羽村市の農業政策について
 ◇学童クラブの開所時間延長

こみや くにあき 小宮 國暉 議員 (新しい風)

◇羽村駅西口地域の活性化に向けて
 ◇高齢者福祉・医療の充実について
 ◇特別支援教育の充実に向けて